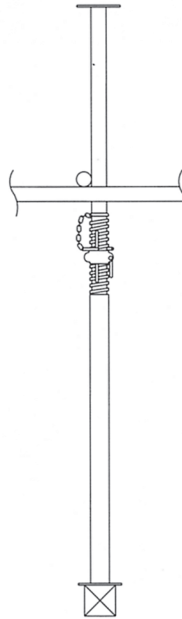


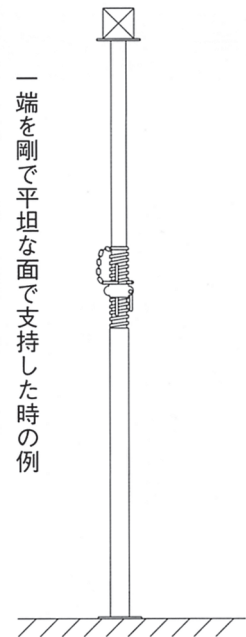
パイプサポートの許容荷重

サポート使用長 (m)	普通使用状態における使用 長さ別許容強度KN (kg)		一端を剛で平坦 な面で支持の時 KN (kg)
	水平つなぎ (無)	水平つなぎ (有)	水平つなぎ (無)
3.4	9.8KN (1,000)	19.6KN (2,000)	14.7KN (1,500)
3.3	10.7KN (1,100)	以下同様に扱う	15.1KN (1,550)
3.2	11.7KN (1,200)		15.6KN (1,600)
3.1	12.7KN (1,300)		16.1KN (1,650)
3.0	13.7KN (1,400)		16.6KN (1,700)
2.9	14.7KN (1,500)		17.1KN (1,750)
2.8	15.6KN (1,600)		17.6KN (1,800)
2.7	16.6KN (1,700)		18.1KN (1,850)
2.6	17.6KN (1,800)		18.6KN (1,900)
2.5	18.6KN (1,900)		19.1KN (1,950)
2.4	19.6KN (2,000)		19.6KN (2,000)

水平つなぎの例
末端の固定か又は筋違を設ける



一端を剛で平坦な面で支持した時の例



- ※2. 4m未満の使用長に対しては許容荷重19.6KN(2,000kg)限度として扱う。
- ※3. 4m以上の使用長に対しては許容荷重19.6KN(2,000kg)限度とし、高さ2m以内ごとに水平つなぎの直角2方向に設け、かつ水平つなぎの変位を防止する措置を講ずる。
- ※補助サポートを使用の場合は許容荷重7.35KN(750kg)限度として扱う。

つなぎ材の取り方

